

市 総合計画基本構想について



石橋 達八 議員

【質問】 新遠野市総合計画の基本構想について「市民は行政を映す鏡」である。遠野スタイルの実現には行政の姿勢が大切だ。また、政策の効果的実現、税の使い方が問われている。職員の人材登用にしても、実力主義的な新たな基準も必要ではないのか。

〔市長〕 当市はこれまで、全国の自治体に先駆けたまちづくりを行ってきた。これらを契機に市民が主役となり、地域づくりを行政と一体となって取り組んできた。この基本的スタイルでさらに産業の活性化や少子化対策、環境問題等、更なる充実を図る。職員の姿勢では「遠野市人材育成基本方針」で職員研修の充実、人事制度改革などにより、能動型の職員の育成を目指す。政策評価については外部評価も導入して事業の企画段階で判断指標としている。

【質問】 中心市街地整備の完成度、成熟度を高め、観光振興と連携、高齢者が歩いて暮らせるまちづくりが求められるが。

〔市長〕 市街地の活性化事業全般としては、商業面では苦戦しているものの、空き店舗活用、高齢者福祉施設のオープンの成果も見られる。今後、田の字型観光ネット、市街地観光スポット、まちづくりの担い手育成など全般的な計画作成、具体的活動も検討する。

【質問】 市街地のあり方として、商業、文化とともに平和をアピールする施設があってもいい。蔵の道ギャラリーの前の公園を、人権の人、杉原千畝の名を冠し杉原公園として永遠に夫妻を顕彰できないものか。

〔市長〕 市民に親しまれ、かつ、全国に発信できるインパクトのある名称が望ましいため、今後名称を検討する際には地域の方々との意見交換を踏まえつつ参考にしたい。



蔵の道ギャラリー前の公園

教 育基本法改定について



小松 大成 議員

【質問】 教育基本法改定案が国会で審議されている。国民の関心の高い教育に関わる重大な内容を持つ法律であるにもかかわらず、わずか一ヶ月あまりの国会会期内に改定しようとしている。このような重大な法案は徹底した論議を尽くす時間を確保し国民的論議の高まりが必要

である。私は、教育基本法改定案に反対するものであるが、市長の見解を伺う。

〔市長〕 今国会の会期の延長がないとの報道もあり、厳しい審議日程の中で審議を見守っているところである。国民の関心の高い教育基本法案であるので、しっかり審議をつくしてほしい。

【質問】 除雪に対する市民からの要望苦情が今年の冬も多くあった。しかし、春の到来とともに忘れ去られ何ら対策をとらないまま問題が繰り返されるのではと危惧される。今から対策を講じるべきである。

〔市長〕 県と市の新たな行政システムの構築により、県・市一体となった取り組みが可能となる。その中でロータリー除雪車の活用も可能になるのではないかと。除雪のみならず市民と行政が一緒に取り組む協働によるまちづくりをとの提言は貴重な意見である。

【質問】 県教育委員会は教育公務員に対して成果主義賃金の導入を明らかにした。教育の現場に最も教育的でないとして、批判を浴びて6月実施は見送ったものの、制度そのものは実行しようとしている。この制度に対する教育長の見解を伺う。

〔教育長〕 教育委員会や校長等この評価の方法等に理解し問題点を論議する場の設定がないまま進められ不安や不満が起きている。県教委には周知理解に努めるよう要望した。



元気に運動する子どもたち